

## 歩む会ニュース

07年7月12日  
NO20号

HP <http://www.orahoo.com/ayumu-kai/>

Eメール [kt.takyanagi-710@au.wakwak.com](mailto:kt.takyanagi-710@au.wakwak.com)



←6月30日のプール開きの際に写したものです。昨年は、埼玉県での凄惨な事故で発覚した、プール、そして遊具のずさんな管理が全国的に問題になりました。

写真では、分かりづらいと思いますが、水流を作るための吸引口は、テレビで報道されていたモノより、ずっと広い面積で、子どもが近くに立っても大丈夫で、網状の鉄板でしっかり覆われていました。（このシステムは安全が優先されている

プール開きの前に、救護のスタッフの方々の救援訓練と講習が行われていました。

写真右下は、通常市民体育館に置かれている携帯用のAED（自動体外式除細動器）で、開園中はプールに置いておくとのことでした。

H2年に開園、17年余の年月で、利用者数も当時の約3分の1となっています。

無料開放に待ちきれず、入り口でオープンを待っていた子供達の笑顔を見ていると、本年の安全と利用増を願わずにいられない。→



今号のニュースは、市議会議員選挙後の5月の臨時議会の報告と6月定例会の報告が中心となっています。

臨時議会では正副議長選挙と沼田市税条例「改正」の専決処分の承認の件。

定例会は、6月5日～15日までで、一般質問者は7人で、私は今回、質問内容がまとめきれませんでしたので、次回で奮闘したいと思います。

また、請願の紹介議員として2件提出をさせてもらいました。（詳細は本文にて報告）

### 第 2 0 号 目 次

# 新しい会派構成と新議席表です。

2年に1度行われる正副議長選挙と構成替えです。選挙では、候補となってもおかしくない期数の方々は8人程いると認識していました。私は、すでに議長を経験した方を除いて、期数の多い2人に投票しました。会派では、これまで覇を競ってきた改革クラブと沼成会が大同団結をした形となりました。

議長選挙：有効投票24票 無効投票2票 有効投票中 金井康夫議員21票 井之川博幸議員3票  
副議長選挙：有効投票23票 無効投票3票 有効投票中 井田孝一議員20票 大東宣之議員

<b>金井 康夫</b> ④ <small>無所属の会(議長)</small>	<b>井田 孝一</b> ④ <small>総務文教常任委員</small>	<b>星野 佐善太</b> ④ <small>経済建設常任委員</small>	<b>牧野 保好</b> ⑤ <small>経済建設常任委員</small>	<b>星川 嘉一郎</b> ④ <small>総務文教常任委員長</small>	<b>石田 宇平</b> ④ <small>経済建設常任委員長</small>	<b>高橋 襄典</b> ⑦ <small>民生福祉常任委員</small>	<b>大東 宣之</b> ⑥ <small>民生福祉常任委員</small> <small>日本共産党沼田市議団</small>	<b>井之川 博幸</b> ⑥ <small>経済建設常任委員</small> <small>日本共産党沼田市議団</small>	
<b>大竹 政雄</b> ③ <small>総務文教常任委員</small>	<b>山崎 義朗</b> ② <small>民生福祉常任委員長</small>	<b>大島 崇行</b> ② <small>民生福祉常任委員</small>	<b>星野 稔</b> ② <small>経済建設常任委員</small>	<b>久保 健二</b> ② <small>民生福祉常任委員</small>	<b>相田 昌夫</b> ② <small>総務文教常任副委員長</small>	<b>宇敷 和也</b> ② <small>経済建設常任副委員長</small>	<b>片野 彦一</b> ② <small>経済建設常任委員</small> <small>公明党沼田市議団</small>	<b>布施 辰二郎</b> ④ <small>民生福祉常任委員</small>	<b>高柳 勝巳</b> ② <small>総務文教常任委員</small> <small>無会派</small>
<b>井上 正文</b> ② <small>経済建設常任委員</small>	<b>小野 要二</b> ② <small>総務文教常任委員</small>	<b>金子 一弥</b> ② <small>民生福祉常任副委員長</small>	<b>鈴木 圭子</b> ② <small>経済建設常任委員</small>	<b>石井 紘一</b> ① <small>民生福祉常任委員</small>	<b>坂庭 直治</b> ① <small>民生福祉常任委員</small>	<b>田村 喜久子</b> ① <small>総務文教常任委員</small> <small>公明党沼田市議団</small>	<b>真下 恭嗣</b> ② <small>総務文教常任委員</small> <small>無会派</small>		

議長席  
(金井康夫)

会派所属別人数		
沼田クラブ	18人	公明党沼田市議団
日本共産党沼田市議団	2人	無会派
		無所属の会
		2人

議会運営委員会	
委員長	牧野 保好
副 "	片野 彦一
委員	星川嘉一郎
委員	山崎 義朗
委員	石田 宇平
委員	小野 要二
委員	星野佐善太
委員	井之川博幸
各会派の代表を定数8で按分して、定例会などの進め方等を	

総務文教常任委員会	
委員長	星川嘉一郎
副 "	相田 昌夫
委員	井田 孝一
委員	大竹 政雄
委員	小野 要二
委員	真下 恭嗣
委員	田村喜久子
委員	高柳 勝巳

民生福祉常任委員会	
委員長	山崎 義朗
副 "	金子 一弥
委員	高橋 襄典
委員	布施辰二郎
委員	大島 崇行
委員	大東 宣之
委員	石井 紘一
委員	坂庭 直治

経済建設常任委員会	
委員長	石田 宇平
副 "	宇敷 和也
委員	鈴木 圭子
委員	井上 正文
委員	片野 彦一
委員	星野 稔
委員	井之川博幸
委員	牧野 保好

気になる案件その1（5月臨時議会）

## 税条例の一部を改正する条例

今回の改正は、地方税法等の一部を改正する法律及び所得税法等の一部を改正する法律が、4月1日から施行されたことに伴うものです。

改正の主な内容は、信託法の改正に伴う規定の整備で、法人課税信託の引き受けを行う個人について法人市民税の納税義務者に追加することや、バリアフリー改修による固定資産税の減額措置の創設等に伴う規定の整備などです。

**【反対討論】**（前半省略）「たばこ税の増税」の後段階が、地方税法の改正に伴って実施されるものであり、第95条の改正がそれにあたる。

大增税の最たるものは定率減税の完全廃止による市民税の大增税であるが、すでに6月実施が決められている。たばこ税の増税は、07年度に5,070万円になると



### 所得税から住民税へ

定率減税廃止を柱とした政府の「取り安く、しかも対象人口の多い部分から徴収する税制」

**思考模索** への転換としか、受け止めようのない法律の第2段階が今回の条例です。

大半の高齢者の所得は、年金のみか、プラス・アルファ程度です。ここからとれる所得税には限界があります。

しかも、所得の総額に対して、住民税を課す方式では税収もなかなか伸びません。

そこで「地方分権」名目で、直接、住民税を中心にとることにするのです。

これなら、年金からガッチリ引き去ることができ、これから増える高齢者から、年々徴税額を増やすことも…。

国からすれば、高齢社会と地方分権への一石二鳥の対応ということなのだろうか！

気になる案件その2（6月定例会）

## 土地の取得について

（仮称）利南運動広場整備事業の用地として、沼須町字川端304番地2外73筆、5万1,532平方メートルを取得するに当たり、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条の規定により、議会の議決をお願いするものです。（当局提案の予定取得価格は、4億6894万1200円ということなの

**【反対討論】** 県企業局がこの土地の利用計画を打ち出していたものであり、住宅団地構想から撤退しようとも、あくまで県企業局がこの土地を地権者から買い上げる責任があるはず。

第2に、三者の協議は、密室で行われ、市民も議会も計画変更における過程ではまったく参加することができず、市民にも議会にも協議の結果が押しつけられ、市民参加を掲げている本市政の方針に反する。

第3に、計画変更により、当初計画よりも沼田市の財政負担は全体で約7億円も増えるという事業内容であり、そのうち、当初計画3ヘクタールから今回5ヘ



### 行政での責任の所在は？

**思考模索** 3月の予算含めた定例会でも議論となった「県企業局の住宅団地撤退」を受けての対応問題です。

私が経済建設常任委員会に所属していた4年ほど前、企業局の計画内容の説明を聞いたことがあります。かなり「積極性が全面に出た計画」だったと記憶しています。

すでに当時、バブルも弾けて経済は停滞期でした。

もちろん億単位の「責任」など個人で負えるモノではないが、こうした失敗を繰り返さぬ為の「仕組みの構築」が求められていると痛感しています。

# 6月定例議会 一般質問概要

注意：特徴的な発言中心に概要です。複数の発言をまとめたモノもありますので、あらかじめ了承願います。

文書中のQ=質問、A=応答、O=意見

## 有害鳥獣による被害状況と地域活性化含めた対策は？

Q：有害鳥獣について、被害地域や被害金額などの被害状況は？

今回新たに施行された鳥獣保護施行規則の内容と主眼をうかがいたい。

吾妻でのイノシシを「食肉ブランド化」するなど有害鳥獣対策を地域活性化と併せて行っていく考えは？

A：農作物被害額は、H18年度では、9190万円と突出しています。

施行規則の改正は、法に定められた猟具であった「とらばさみ」について錯誤捕獲をした場合、鳥獣を負傷させてしまうため、法定猟法から除かれる等、錯誤捕獲の減少と人身保護に万全を期するためのものと考えています。

地域活性化は、県や吾妻郡7町村で建設した「あがしし君工房」等との連携について、今後研究していきたい。

### 豆知識

#### あがしし君工房？

捕獲したイノシシの肉を特産品として売り出すため整備し、運営はJA沢田に委託。シンボルマークを作ったり、販売促進を積極的に行い、試食会では「柔らかな歯ごたえでおいしい」「低カロリー、低脂肪のイノシシ肉は健康的」など評判は上々とのこと。

直売所等で真空パックした生肉を販売している他、四万温泉の旅館では工夫を凝らしたメニュー開発も行っているという。

お土産としても安定して提供できるハムやなどに加工し、販売する計画も進んでいる。（全国知事会ホームページより）

## 農山村活性化プロジェクト支援交付金の活用策は？

Q：農水省では、「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」により資金面でもバックアップする体制がとられています。

沼田市としての、定住者、二地域居住者、滞在者の現状と増加するための計画についての考えをうかがいたい。

A：自然や観光、文化などの情報を効果的に発信して、交流人口さらには、定住人口の増加につなげ、人口減少に歯止めをかけるべく取り組みを進めています。

本年4月には、沼田市交流居住促進協議会を立ち上げ、本市の情報発信の一元化と受け入れ体制の整備などの研究を進めています。



沼田市

### 交流居住促進協議会

この協議会は、3つの「部会」

で構成され、それぞれに造詣のある方々が委員についています。

思考模索

#### ①グリーン・ツーリズム部

地域資源の発掘に関する事。

田舎体験ツアーのメニュー開発に関する事。体験交流のプログラムに関する事。等

#### ②受け入れ体制整備部会

就農、援農に関する事。

不動産情報に関する事。

就業・生活支援に関する事。

移住希望者の受け入れに関する事。等

#### ③販路拡大検討部会

都市部へのPR、誘客促進に関する事。

物産・特産等の販路拡大に関する事。

等

手前味噌で恐縮ですが、「ふるさと回帰支援」の具体化であると、私は考えて

## 障害者や妊婦への行政サービスの向上への考えは？



Q：子育て支援ガイドブックの小冊子の作成を願いたい。

耳のシンボルマークやマタニティマークやの普及、啓発の推進を願いたい。

また、心身共々の安心の出産のために、妊産婦無料検診の拡大について、どのように考えているかお聞かせ下さい。

A：小冊子は過去に作成したことがあるが、関係法令が、頻繁に変更になることや財政上の課題があるので検討したい。

周知や啓発については、できることから実施に向けたい。

## 地方の公共交通の再生へ地域公共交通の活性化及び再生法の活用を！

Q：少子高齢化、マイカー利用によるクルマ社会の中で取り残されている高齢者や学生対策、中心市街地の活性化対策などのため、循環バスの実施をはじめ抜本的対策が必要になってきている。

国では、「地域公共交通の活性化及び再生法」を今国会で成立させたが。

A：循環バスについては、慎重に研究していきたい。

全庁的な取り組みや「法」の活用については、現行の運行路線や交通空白地域の状況、また、財政状況などを踏まえ引き続き総合的に研究していきます。

## テレビ難視聴地域への対策は？

Q：高度情報化の推進で、地上デジタル放送中継局の整備にあわせて、難視聴地域対策はどのように検討されているのか。

A：デジタル対応の中継局の整備については、利根郡内の町村と協議し対応していきたい。

共聴施設の整備は、国の地域情報通信基盤整備推進交付金では事業主体を市町村に限定している点や一定額の費用を対象外としている点などにより難しさがあるので、共聴組合の実情や財

## 中心市街地活性化の現状と対策は？

Q：街なか活性化事業のこれまでの取り組みと、現状についての見解を！

A：一部で建物移転が始まったことにより、各街区や商店街において、まちづくりに対する意識が高まりつつあると考えています。

中心市街地の新たな基本計画については、数値目標を定め、概ね5年以内を目安に、その事業効果が現れる計画でなければ、事業認定されないなど、基準が大変厳しくなっています。

## 本市の介護保険サービスの新制度の実情と課題は？

Q：地域密着型サービスとして、H18年より始まった沼田市日常生活圏域サービス基盤整備計画の進捗状況と、今後の推進に当たっての課題を聞きたい。

A：地域密着型サービスが、H18年度の介護保険制度改正に伴い新しく導入されたサービスであり、そのサービス内容が広く浸透されていないことから、申し込みをする事業者が少ない。

## 義務教育費国庫負担制度の維持と教育予算の拡充に関する意見書

### 【要旨】

(義務教育費の国の持ち出し分は年々削減され)平成17年度予算においては中学校教職員給与費相当分が暫定的に一般財源化された。

さらに平成18年度からは、国の負担率が2分の1から3分の1に変更されている。

この制度を今後更に縮小・廃止することは、地方における義務教育に必要な財源の確保を困難にし、義務教育の地域間格差を生じさせることにつながるだけでなく、厳しい財政運営を余儀なくされている地方自治体の財政に大きな影響を与えるものであり、義務教育行政の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものである。



### 義務教育費国庫負担制度

教育の機会均等と教育水準の維持向上を目的とした法律に基づき、都道府県が負担する公立義務諸学校の教職員の給与費等について、

### 格差が義務教育にまで！

国が「義務」教育としている以上は、子どもの親たちへ「しっかり教育しなさい！」という一方で、「お金のことは、心配いらないから！」がセットであるべきです。

お金に名前はありませんが、「使い道を限定した負担金や補助金があります。

補助金は昨今、ムラやムダになりやすいと評判は良くありません。

しかし、大抵のご家庭でもそうしてきたかと思いますが、給料をもらうと、まず、絶対必要な、住宅ローンや子どもの教育費は最初に別にして取っておくでしょう？

## 日豪EPA（経済連携協定）・FTA（自由貿易協定）交渉に対する意見書

### 【要旨】

本年から開始するとされている日豪EPA・FTA交渉に対し、オーストラリア政府は、農産物も含む関税撤廃を強く主張すると見られています。

オーストラリア政府の要求どおり、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府試算でも肉牛・酪農・小麦・砂糖の主要4分野において約8,000億円もの打撃を受け、関連産業や地域経済への影響を含めると2兆～3兆円規模になるとされています。

本県でも県の試算によると、353億円もの影響額が予測されています。また、食糧自給率は30%台に低下するなど、このことがもたらす影響は甚大であるので、政府は、強い決意で臨んで欲しい。

### 世界がもし100人の村だったら

～③食べもの編より～

ヨーロッパはせまい国がほとんどです。でも食糧自給率は、フランスが121%、ドイツが99%、イギリスが61%です。(日本40%)

私たちの食べものを作っている畑の70%は、よその国にあります。

私たちの食べものを作るために使われる水は、日本で使われる水の1,1倍です。

日本の穀物の自給率は28%です。砂漠の国、サウジアラビアは、29%です。

アメリカの4人家族は、1年に食べる牛肉のために1000リットルの石油を使います。ここでは、石油の15%を食べもののために使っています。

私たちが捨てる食べ残しは、年に2000万トンです。世界の食糧救援量は、年に1000万トンです。

日本も世界も客観的事実に目を背けず、環境、食糧、不均衡について真剣に向き

## 高柳勝巳の活動日記



5月12日地域から政策形成を考える研究講演会 写真は基調講演の法政大学廣瀬克哉氏で、前橋で開かれました。

研究発表では、県職員による模擬条例の作成の過程と趣旨が報告されました。

議員の政策や条例提出が注目されてい



6月23～24日沼田市田舎体験ツアー

団子汁を作って食べる体験で一緒に作ったレタス巻き（ごはん）です。

生活改善グループの皆さんが積極的に協力してくれ、盛り上がりましたが、会場の設定は、田舎風の場所が良かった？



6月26日平和行進（片品村役場にて）

例年行われている「住民アピール」と「行政への要請」のための行進です。昨年から、利根沼田地区独自要請項目を付け加えました。

非核宣言自治体協議会への加入促進が、その一つで、昨年の要請行動の際、実を結んで、合併したみなかみ町が新規に加入してくれました。

さらに、今年は来たる10月13日（日）に平和を願ったアニメ映画「アンゼラスの鐘」の上映会への協力も要請しました。

秋のニュースで紹介しますが、是非ご

「しょがない」って冗談じゃない！

久間防衛大臣の『原爆投下はしょうがない。』発言で参院選が一挙に「話題化」してきました。

辞めればいいだろうと云わんばかりの「辞任劇」もネタバレの昨今。日本の平和への無神経、不見識な行為は続発している。

オスロ・プロセスと日本の選択

「第二の対人地雷」といわれるクラスター爆弾は親爆弾の中から無数の子爆弾が飛び出し、一発でサッカー場3面分を攻撃することが可能な新しいタイプの爆弾で、不発率が高く、紛争終結後の民間人への被害が重大な人道上の問題となって浮上している。

こんなひどい「兵器」を削減しようという会議での計画がオスロ・プロセスで、集まった49カ国の中で態度保留3国に日本はいます。（日本は保持しています。）

さらには、沖縄での集団自決に強制はなかったとの歴史教科書問題では、与野党問わずの批判を受けている政府。

### 議長の交際費、政務調査費の公表

高まる議員、議会のチェック機能とその経費を受け、沼田市議会でも議長の交際費の公表を7月分から公表することになりました。

また、議会の会派に対して支給される政務調査費の公表を、実質的には、来年の5月以降公表していくことになりました。

当面支給額は一人年額150,000円で、公表の内容は9項目に分類された支出基準に則り作成された「報告書」に基づいて公表されます。

伊勢崎市では、市のホームページに掲載していくという記事が新聞に出ていました。

当然ながら、困難な課題というのが、国会含めた議員・議会の「奥の深いところ」のようです。

### 30万円以上のカンパを頂き 本当にありがとうございました。

～ニュース発行カンパ額～

#### 【前年収支報告】

昨年のニュース発行カンパは、振り込み手数料を引いて総額295,720円もの沢山の浄財を頂きました。

本当にありがとうございました。こうした貴重な、財源をニュース発行のための郵送料や紙、封筒、印刷代として、4回に分けて使用させていただきました。

内訳は

2006年	7月	70,000円
2006年	10月	80,000円
2007年	1月	75,000円
2007年	4月	70,720円
	合計	295,720円

本年も、ニュース発行に関わる任意カンパをお願いいたします。

### 議会だより編集委員会新体制

昨年5月号から発行されている沼田市議会だよりの編集委員会体制が決まりました。

メンバーは、大東宣之氏、石井紘一氏、田村喜久子氏、そして鈴木圭子氏と私高柳勝巳が、結果として、前回からの残留委員として加わり、5名で編集作業を行っていくことになりました。

不肖、私は今回も、編集委員長を互選により、担当することになりました。

### 編集後記

編集後記を書こうと、思いを色々馳せていたところ、ふとテレビに「貧困銀行」と訳すグラミン銀行を設立し、総裁を務めるのモハマド・ユヌス氏が出演していた。

働いても働いても、高利貸しによって、その稼ぎの大半を持って行かれ経済的自立が困難となり貧困が「固定化」していることに、疑問を持ち、無利子・無担保でお金を貸した。

お金を貸す代わりに、5人組を組織して、返済計画を立てさせたりして、高い回収率と貧困層の自立に大きく貢献したとしてノーベル平和賞を受賞した。

『貧困は、平和にとつての最大の敵』と断言する彼の言葉が胸を打った。